

県大 SDGs シネマ



県大 SDGs NEWS Vol. 05 2018 October

地域共生センター 発行

映画で社会課題を知る「県大 SDGs シネマ」始めます。

SDGsへの取り組みを始めるためには、まず社会の課題について知ることが必要です。そして同じ社会課題でも立場の違う人が見れば、その理解も変わってきます。

周りの人たちと一緒にSDGsに関わる課題を知り、感じたことを共有する機会として、地域共生センターと図書情報センターの共同企画で、映画の上映会を定期的に開催することにしました。皆さん、ぜひご参加ください。

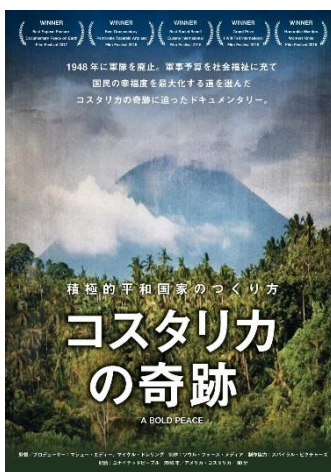
滋賀県立大学は、6月に湖風夏祭での「滋賀県立大学 SDGs 宣言」を行い、SDGs達成に向けた取り組みを始めています。

その主なものとして、地域に変革を起こす人材を育てる「地域教育プログラム」や地域の課題に県大の研究リソースを提供する「SDGs 特化型地域課題研究」、そして多くの学生の皆さんが地域に入って活動する「近江楽座(Eプロジェクト)」などが挙げられます。

SDGsに関する課題は多岐に亘り、数も多くあり、ひとりの人がその全てに直接関与することはできません。一方、それらは複雑な相互関係により、私たちの目の前にある課題ともつながっています。この相互関係を十分に理解した上で、周囲の人たちとの協働で自分たちの取り組みを行うことが重要です。それを怠ると、自分の活動が成功しても別の課題に悪い影響を与えたり、相乗的な成果を得るチャンスをみすみす逃してしまうことにもなります。

そこで、多くの方が親しみやすく理解しやすい「映画」を題材として、社会の課題を知る機会をつくろうと考えました。今回、幅広い社会課題をテーマとした映画を配給しているユニタッドピープル社と年間契約を締結し、1-2ヶ月ごとにいろいろな映画を県大キャンパス内で上映できる体制が整いました。自分とは関係が薄いと思われるテーマについても、少し掘り下げてみると意外な関係性を発見できるかもしれません。ぜひ、多くの皆さんにご参加いただきたいと思ひます。

「県大 SDGs シネマ」は、ただ映画を見るだけの企画ではありません。上映後、参加者同士で映画の感想や意見、これからの自分のアクションなどについて話し合う時間をとります。自分と違う課題の受け取り方を否定せずに聞いてみることで、新しい視座を得たり、自分の活動の仕方を見直すきっかけにもなると思います。SDGsの基本的な考え方である「誰ひとり取り残さない」を実現するためには、このように他の人との対話をするのが、とても大切だと考えています。



第1回の開催は10月24日(水) 18:15開始です。場所はセンター広場の図書館入り口付近での野外上映です。秋の夜風を感じながら、楽しみたいと思います。上映作品は「コスタリカの奇跡～積極的平和国家のつくり方～」、1948年に常備軍を解体したコスタリカは軍事予算をゼロにし、教育・医療の無料化、環境保護にその予算を振り分けました。2016年には「地球幸福度指数(HPI)」の世界ランキングで1位となっています。

この映画のメインテーマは「平和」、SDGsでいうと「16. 平和と公正をすべての人に」の目標に関係が深いように見えますが、それは上記のように教育(目標4)や健康(目標3)、自然環境の保護(目標13-15)にも関係がありそうです。一方、「とても挑戦的な取り組みだけど、軍を持たずに国を守れるのだろうか?」という疑問も出てきそうです。映画の中に答えがある場合もありますし、みんなで考えなければいけないこともあるでしょう。そんな場所を一緒につくってみませんか? 地域の方々にもお声がけて、いろいろな立場の人が参加できるようにします。SDGs 地域化拠点への取り組みでもあります。ぜひ、皆さんご参加ください。お待ちしております!

「県大 SDGs シネマ」は教職員、学生の混成チームを実行委員として企画を進めてきました。今後もいろいろな人たちに関わっていただきながら、より良い交流の機会、また何かが始まるきっかけとして、この場を育てていきたいと考えています。新規の実行委員も随時募集しています。お問合せは、地域共生センター(担当: 谷口 TEL 28-9851) までお願いします。

